

# 一般質問

令和3年12月7日、8日の  
2日間で行われました。

質問・答弁は質問者本人がまとめたものです。

## ●一般質問とは…

議員個人が市の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市長などに求め、市が市民のために適切な市政運営を進めているかを議員がチェック、提案などをするものです。



一般質問 12月7日



一般質問 12月8日

質問▼伊達野菜を売り込んでいく一方で、学校給食における嫌いな食べ物の1位が「野菜料理」であるが。

答弁▼地産地消を進める。

質問▼学校給食の食材に地元産品を増やす計画があるが。

答弁▼少しずつ減っている。

質問▼給食食べ残しの現状は。

答弁▼今後増やしていく。

質問▼伊達野菜をPRするサイトでは、伊達野菜販売所は2カ所しか紹介していないが。

答弁▼今後も取組を強化する。

質問▼伊達野菜の地域ブランド化の今後は。

答弁▼食育を通じて、おいしく食べられるよう促していく。

## 伊達市における農業及び学校給食のあり方について



令和みらい

小倉拓

拓

質問日 12月7日

## ●それ以外の質問

伊達市における国民健康保険の在り方について。

答弁▼本年度はオープン以来過去最高の収益を上げ、黒字に転じている。児童に配布する献立表も工夫している。



地域ブランド「伊達野菜」えったま333

令和みらい  
佐藤匡則

質問日 12月7日



## 「eスポーツ」について

**質問▼**eスポーツの市民講座を開催できないか。

**答弁▼**二ースは不明であり、講座の開催は考えていないが、動向は注視していきたい。

**質問▼**本市の規模だからeスポーツを導入できないのか。

**答弁▼**需要は理解している。依存症の問題も心配されおり、まずは指導者の育成が必要。先に市がゲームセンターを設置できない。

**質問▼**高齢福祉とeスポーツは有効的なツールとして、認知症予防に効果が認められるといわれている。活用すべきではないか。

**答弁▼**認知症予防の効果が認められることは認識している。



盛り上がりを見せるeスポーツの様子

しかしながら通信状況など設備などの整備が必要と考える。

**質問▼**ICT活用が進む中で、男女ともにユーチューバーになりたい若者が多い。伊達市出身で登録者数60万人を超えている方をござ存じか。

**答弁▼**存じ上げていない。

**質問▼**本市における3歳児健診率は100%である。6歳から8歳までに視力機能が出来上がってしまう。

そのためにも視力の機能が一番高い3歳児で屈折検査機器を導入し、異常の早期発見、早期治療につなげてはどうかを問う。

**答弁▼**屈折異常や斜視に伴う弱視は、視覚中枢の発達障害と言われている。

そのような場合就学前までの早期治療開始が必要と認識している。

**質問▼**危機管理室への女性職員の配置を問う。

**答弁▼**女性のきめ細やかな視点は欠かすことができないと考えており配置を検討する。

公明党  
渡辺雅子

質問日 12月7日



## 視力検査用の屈折検査機器導入と危機管理室に女性職員配置

**質問▼**3歳児健診時の屈折検査機器の配置を問う。

**答弁▼**女性のきめ細やかな視点は欠かすことできないと考えており配置を検討する。



3歳児健診時の屈折検査機器

早期発見の意味からも視覚検査の精度の向上は必要と考えており、他市の実績や本市で機器を使って検査のお試しなど踏まえ、高い効果が見られるようなら購入する。

**質問▼**危機管理室への女性職員の配置を問う。

**答弁▼**女性のきめ細やかな視点は欠かすことできないと考えており配置を検討する。

令和みらい  
田中なかひで秀ゆき

質問日 12月7日



## 指定管理者制度・ ふるさと納税について



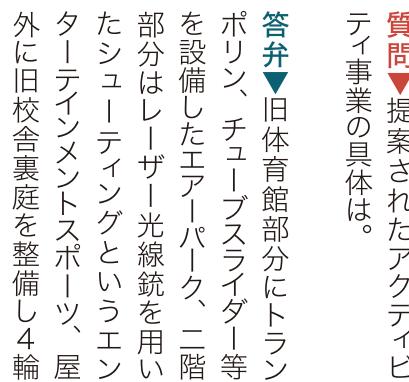
**質問**▼ 指定管理者制度導入の効果を問う。

**答弁**▼ 民間のノウハウを導入することにより、きめ細やかな対応が可能となり、効率的に効果的な管理ができ、地域に密着した運営など、住民サービスの向上につながっていると考えている。

**質問**▼ ふるさと納税の寄附金の今後の活用について問う。

**答弁**▼ 子育てにおける経済的負担は、高校卒業後から大学等に通学する期間がもつとも大きく、それに対する支援は少ない。現状では、保護者負担や貸付型奨学金制度などの利用が一般的である。

特に奨学金については卒業後の返済が負担となっていることが新聞等でも、たびたび取り上げられ認識している。議会からの具体的な提案があれば、一緒に考え実現させたい。



**質問**▼ 旧大滝中学校については地元のNPO法人が活用策を募集し、良い地域振興策があれば市に対し提案するとのことでしたが、その後の状況は。

**答弁**▼ NPO法人大滝まちづくりサポートから公募の結果、市に良い提案をしたい旨がありアクティビティ事業のプレゼンを受けた後、市で内部精査し提案を受け入れる方針を固めました。



現在の旧大滝中学校

バギーコースを令和5年度の春から開始する計画となっています。

**質問**▼ 大滝の温泉宿泊施設との連携等は模索されているか。



## 大滝区における廃止検討施設等の再活用について

自民クラブ  
岩村むらかす則り

質問日 12月7日



## 避難訓練等について

### ・特殊詐欺対策について

**質問**▼総合体育館及びカルチャーセンター使用時における避難訓練について問う。

**答弁**▼総合体育館では、年2回の避難訓練を行っているほか、カルチャーセンターでは、実際に利用者を交えての避難訓練は実施していないものの、か、カルチャーセンターでは、年2回の避難訓練を行っているほか、カルチャーセンターでは、実際に利用者を交えての避難訓練は実施していないものの、か、カルチャーセンターでは、

**質問**▼特殊詐欺被害を防止するための本市の対策について問う。



あなたを狙う! 特殊詐欺

センター、伊達市民生委員児童委員協議会などで構成される「特殊詐欺の被害防止に係る関係機関連絡会議」を開催し、特殊詐欺の傾向、市内の状況など、情報の共有を行い、被害を未然に防ぐため、関係機関との連携を図っております。

市民への啓発については、市民が多く集まる、大手スーパーなどに看板やポスターなどを設置していきたい。

今後は、指定管理者や常時利用している市民団体と相談させていただき、有効に安全を確保できるような仕組みを考えていきたい。

**答弁**▼管理作業はシルバーパートナーへ依頼、他に市民団体によりボランティアで整備をしている。大滝散策路に関しては、安全確保を徹底して

**質問**▼4つの自然公園の管理状況、今後の整備計画を策定する考えは。



**質問**▼市民、特に高齢者等へのスマホやタブレットの使い方支援が必要であり、外部人材を活用して庁内のデジタル化をさらに推進する考えは。

**答弁**▼まずは公共交通利用時にスマホ活用を考えており、タクシーのWeb予約などで慣れてもらいたい。有償ボランティアとして応援隊などの制度も検討している。デジタル推進には外部からの人材活用も必要と考えている。

**質問**▼北黄金貝塚のガイドのあり方について。

**答弁**▼「オコンシベの会」を中心とし、学芸員、担当課の職員も対応。若い世代の有償ガイドの支援も検討していく。



## デジタル化支援・自然公園管理

### ・北黄金貝塚のガイドについて

**質問**▼箇所限定で管理する。情報共有、市民との協働を進めいくためにワークショップの開催を検討する。

**答弁**▼管理作業はシルバーパートナーへ依頼、他に市民団体によりボランティアで整備をしている。大滝散策路に関しては、安全確保を徹底して

**質問**▼オコンシベの会を中心とし、学芸員、担当課の職員も対応。若い世代の有償ガイドの支援も検討していく。



## 灯油高騰、福祉灯油の実施を



高騰する灯油

**質問**▼高騰する灯油価格に対する購入費について低所得者への「福祉灯油」助成を行うよう検討すべきではないか。

**質問**▼特別障害者手帳を持ついなくても、障害の程度をかかりつけ医の診断を受けて申請し認定されると特別障害者手当を受け取れる制度がある。有料老人ホーム、グループホーム等も対象となる。注目されている。窓口での対応、説明を丁寧に行ってほしい。

**答弁**▼パンフや市HPで制度を周知している。相談に対しても、窓口において申請方法など丁寧に説明していく。

**●それ以外の質問**  
新型コロナワクチンの3回目接種予約の方法などを質問。

**答弁**▼平成20年度に「福祉灯油購入助成事業実施要綱」を定めており、1月事業実施に向け、住民税非課税世帯とし、世帯当たり5千円で検討している。



## 多文化共生社会について



にぎわい創出が期待される伊達商工会議所跡地

**質問**▼200名以上の外国人が住民登録し技能実習生として働いている。日本人と同様に市民税や所得税、年金も払っている。

市としても接点を模索すべ

**質問**▼本市にも多くの外国人技能実習生が来られている。これからは多文化共生社会について理解を深め、交流を持つことが本市の持続可能性につながる。本市に登録されている外国人の数と多文化共生社会について問う。

**答弁**▼1月末時点での中長期滞在者は212名、特別永住者は7名。働き手不足の中、外国人の就労は必要だ。

また異国の言語、習慣に触ることは子供達の将来にも関わることで、多文化共生社会の実現は必要と考える。

**答弁**▼まずは多くの技能実習生を受け入れている事業者に確認をとつて、市として何ができるかを検討したい。

**●それ以外の質問**  
まちなかのにぎわい創出と避難施設について



## 閉校及び統廃合校の校章

### ・校歌等の資料管理について

質問▼令和6年までに小学校3校と緑丘高校が閉校となる。慣れ親しんだ風景が消えることもなくなり人びとの記憶から消えていくことを危惧する。

既に閉校となつた小中学校及びこれから閉校になる小学校の資料・遺物は、各校が地域の核として共に歩んできた証である。卒業アルバム・文集・部活動記録等の資料、校門の門標・玄関上の校章、体育館の校歌等の遺物の管理・保管と活用について伺う。

また不要となる図書等を市民に譲渡することは有効活用策と思うが考え方を伺う。

答弁▼不要になる図書等を市民に譲渡することは、他自治体の事例を参考にして考えていく。



閉校した達南中学校玄関に残された校章

資料・遺物についての中で義務付けられている資料は統合校、それ以外は関係者と協議し地域の施設等で保管しているが教育委員会は関与していない。今後は市史統編の編纂と並行して市史資料室を設置し、管理をおろそかにしてきた学校以外を含め資料の収集と管理を行っていく。

指摘のあった旧伊達高校校門の保全等については、道教会と協議を続けていく。



◎伊達市タクシー活用実証事業

令和3年度から、黄金・有珠・稀府地区の75歳以上の住民にタクシーチケットを交付していますが、今後、他の地区でも行っていくのですか？

公共交通全体の利用促進を図ることを目的に公共交通のニーズの検証及びタクシーと愛のリタクシーの複合利用の促進を目指した事業です。他の地域においては、現段階では考えておりません。

★現在の状況と今後の新たな取組は？

75歳以上の多くの方は、自家用車を保有しており、タクシーを利用しない方が多いので、今後は活用実証事業の結果を踏まえ新たな事業を考えていきたいです。